

日本のアニメ制作会社の分布 (2011年版)

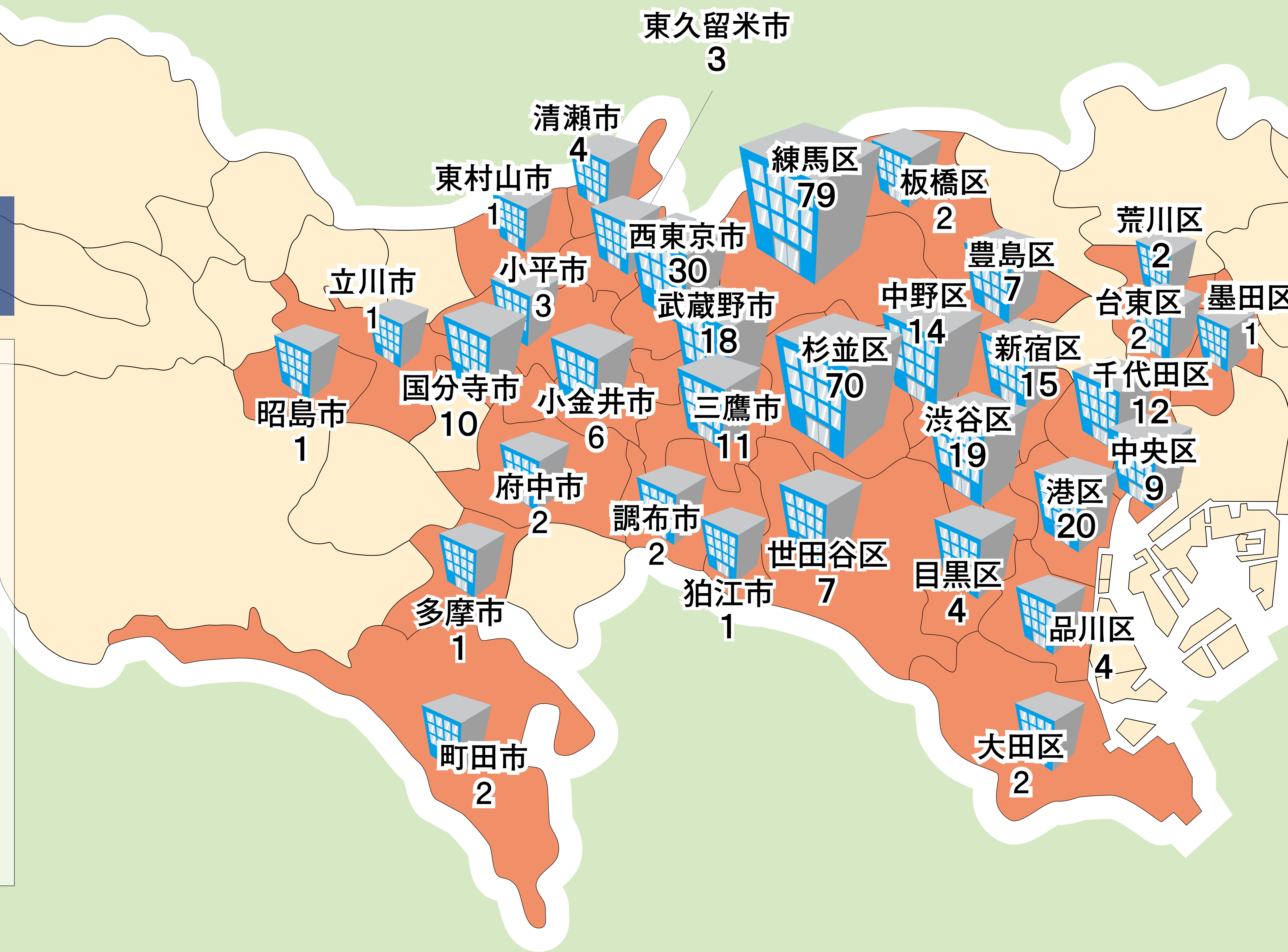
※アニメ制作会社とは、企画・製作、元請、グロス請、脚本、演出、原画、動画、CG・FLASH、背景・美術、特殊効果、撮影、音響、音楽、編集を主業とする事業者およびフリーランスを指す。

アニメと地域振興

行政や産業界はアニメの付加価値創造力を地域振興に役立てようとし始めている。長野県上田市では、同市の街並みを精緻に再現した『サマーウォーズ』による観光誘客を行い、同市内の郵便局限定で発売される切手などが人気を博した。『らき☆すた』で舞台となった埼玉県鷲宮市では、ファンが訪れる「巡礼」観光が増加、鷲宮町商工会によればその経済波及効果は4000万円を越えるという。宮城県では、伊達政宗が主人公である『戦国BASARA』を活用、米・みそ等同作商品の発売や「仙台七夕まつり」とのコラボレーションなどを実施した。

アニメ制作スタジオ分布図から読み取れる傾向

分布図を見ても分かるようにアニメ制作(製作・制作・背景・撮影・音響・ポスプロなど製作・制作工程に参加している企業)に携わる企業分布は東京が全体の87%と集中度合いが著しい。中でも練馬区と杉並区にスタジオが集積しているがこれはアニメ産業の歴史に沿った展開の結果と言えるであろう。練馬区に関しては西武池袋線大泉の東映動画(現東映アニメーション)、高野台の虫プロが集積を牽引した。杉並区に関しては西武新宿線下井草～上井草、中央線高円寺～荻窪に集積しているが、新宿線に関しては池袋線にあったスタジオとの関連(環8までの両線は歩いて行ける距離)、中央線に関しては70年代南阿佐ヶ谷にあった東京ムービー新社の関連で増えていったものと思われる。



地方におけるアニメ制作の現状

東京への一極集中が進む一方で京都アニメーション、P.A.WORKS(富山南砺市)といった地方に本拠地を置くアニメ制作企業の健闘を耳にする。その理由としてはビジネスにおける利便性に欠ける側面はあるものの作品に集中できる環境が得られるということが上げられよう。インターネット等の発達で地域性によるコミュニケーションの差異がなくなりつつある現在、この傾向は広まりつつある様に見える。地元との連携が見られるUfotable徳島分室、旭プロダクション宮城白石スタジオ、アニスタ神戸など今後の動向が注目される。

